



エアコンは適正に使います

1

役場で使用しているエアコン。適正温度を守り、外気温だけでなく、湿度までも考慮して不快指数を調べて集中管理しています。湿度計は町民の皆さんがよく訪れる2階に設置して、計測しています。

役場の開庁時間以外は、基本的に電気の消灯を行っています。正午から午後1時までの昼休みも消灯を行い、また蛍光灯を間引いて設置するなど少しでも省エネにつながるよう努力しています。



照明にも気を付けて消灯を

3

待機電力は発生させません

電気製品をコンセントにつなげたままだと発生してしまう「待機電力」。役場では帰庁時や長時間離席する場合は、パソコンの電源を切り、コンセントを抜いています。小さなことですが、結果的に大きなことにつながります。



効率良く仕事をして節電に

役場では月曜日から木曜日までは午後7時、金曜日は午後5時45分に庁内放送で「蛍の光」を流しています。業務の効率化を図ることで節電の効果を狙っています。

4

5

電気だけではなく、紙も大切な資源です。ミスコピーを減らし、会議もペーパーレス会議（紙を使わない会議）にするなど、無駄な紙を使用しないようにしています。裏面再利用でなく、そのコピーが本当に必要なのかも考えています。



紙も資源。無駄に使わない

「クールビズ」は役場でも毎年行っていますが、今年はさらに早く5月10日から実施しています。軽装で業務を行うことでエアコンを効果的に機能させています。皆さんも役場にお越しの際は、クールビズでお越しください。

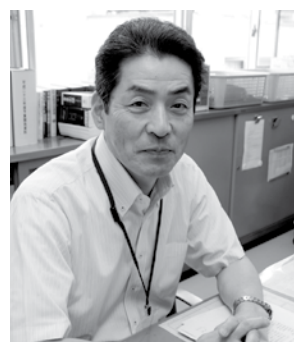


クールビズをより早く実施

6

役場の取り組みは。大津町役場のエコワーク。

役場は以前から省エネに取り組んできました。それはとても小さな取り組みですが、約2000人の職員全員が取り組んでいるので、決して小さなことではなく、大きな取り組みになっています。そして、それは私たち町民も一緒です。私たち町民約3万2千人、一人一人がちょっとしたことを心掛ければ、大きな節電につながるのではないのでしょうか。



総務課長
たなか いじ
田中令児

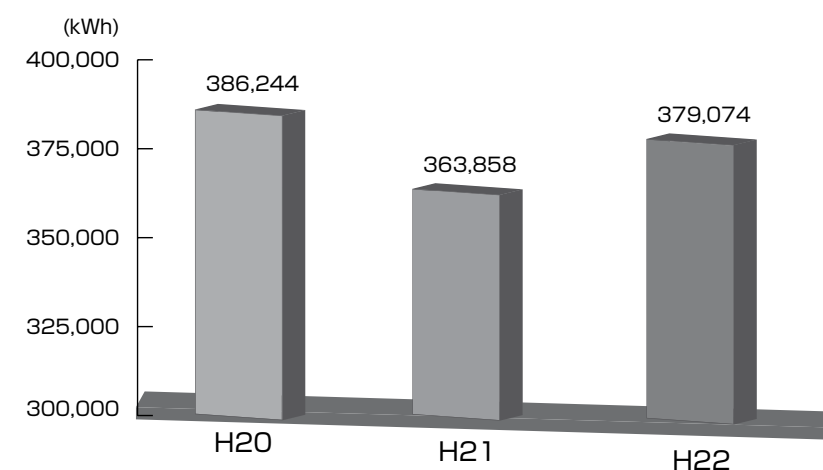
役場は、業務を行う際に何が必要なのかを判断して業務を行っています。節電などの省エネ対策も同じように考えています。

特に今年は震災で発電所も被害を受けましたので、さらなる節電対策が必要になってきます。役場のサービスを低下させずに、エアコンなどの空調や照明を無駄に使わないように、職員も努力しています。例えば、昼休みは消灯を行っています。1時間の各課の蛍光灯（約330本）でも1日当り12・1kWh（1年間240日として2,900kWh）の節電になります。決して大きな数字ではありませんが、小さなところまで取り組みを行っています。

夏になり、暑くなってくると、役場はとても快適な環境とは言えなくなりますが、今は日本が一つになって前に進むときです。ご理解をよろしくお願いいたします。

そして、町民の皆さんもご自宅での節電を心掛けてほしいと思います。私たちも頑張りますので、地球環境のために一緒にエコライフを楽しみましょう。

役場庁舎の3年間の年間電気使用量



平成20年度に庁舎西側エアコンの改修を行い、機器が省エネタイプになったことから電気使用量は平成21年度には下がっています。しかし、平成22年度の平均気温は前年度より高かったことから電気使用量は増加しています。